

REV/SPEED

Vol.
3897
2025
July

過激な領域を知ったうえでの……

スイフトスポーツ

最適チューニング

とは!?

+FFドラテク指南



特別付録DVD
副音声
木下みつひろ
マニアック
解説



進化を続けるパッド/ローター/キャリパー

止まる 曲がる 耐える が激変!

ブレーキ アップグレード提案



特別価格: 1810円 本体 1645円

レーシングスポーツシートの
最高峰モデル
ゼロRSプラス、
保安基準適合になって
新登場!!

NEW

BRIDE®

XERO RS PLUS

—ゼロ—

¥195,800~¥264,000(税込)

- FRP製シルバーシェル(GFRP)/スーパーアラミド製ブラックシェル(AFRP) ●全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド) ●保安基準適合モデル ●難燃生地
- FIA規格取得モデル ●日本製 ●着座センサー搭載(座面部) ※車種によっては、対応できない場合があります。 ●FRP製重量:約8.5kg/スーパーアラミド製重量:約8.5kg(参考数値)

抗菌(除菌・脱臭)対応の安心仕様

APPROVED

APPROVED

車検もOK!



BRIDE SUPER SEAT

BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 BRIDE

〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号 電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612

※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

写真のモデルは、
XERO RS PLUS-FRP製シルバーシェル・
レッド(H01BBF)です。写真のモデルは、
XERO RS PLUS-FRP製シルバーシェル・
グラデーションロゴ(H01GGF)です。写真のモデルは、
XERO RS PLUS-FRP製シルバーシェル・
ブラック(H01AAF)です。

ブリッド&エディルの最新情報は、こちら!

<http://bride-jp.com>


GR86/BRZ Cup参戦車両
ケーエムエスフェニックスGR86に装着
シートレールはLGタイプ



青木孝行 IMPRESSION

包み込まれるポジションで運転に集中できる

現状、GR86 RacingはXERO CSを使用。XERO RS PLUSでは身体がシートの深いところに収まって、シェルに包み込まれるように座ることができ、凄いホールド性と集中力が得られます。前側3段中の中段、後ろ側2段中の中下段で取り付けしたので、角度は少し立ち気味でした。前側を最下段にして寝かせれば、好みの角度になるでしょう。コース上での他車の確認からバック駐車まで視界は違和感なし。乗り降りもさほど苦にはなりません。

触り心地抜群の表皮 ERGOSTER NUGRAINも発売中

カラー チャコールグレー
シートヒーター搭載モデル(12V専用)
有段式アームレスト・ヌグレは別売り
※右用/左用それぞれ税込み価格 2万3980円
保安基準適合
重量 約15kg
通常モデル
税込み価格17万6000円
シートヒーター付き
税込み価格19万4700円

座ったときの身体に伝わる、柔らかな触れが特徴。エルゴスターヌグレはアキレスの高感度素材 NUGRAIN(ヌグレ)を表皮に用いる。チャコールグレーの箇所にヌグレが寄られ、色合いもエルゴスターとは異なる上質感。シートのまわりに十分なスペースがあれば、有段式アームレストを追加できるが、そこにもヌグレ専用生地が用いられる



BRIDEデモカーZN8 GR86に装着
シートレールはLFタイプ



BRIDEデモカーGR Yarisに装着
シートレールはLFタイプ後期型用



富林勇佑 IMPRESSION

高いGに対しても凄い剛性&ホールド感

座った瞬間からホールド感が違いました。3点式シートベルトで走りましたが、高いGを受ける高速コーナーでもポジションがズレません。周囲を走るクルマが多く、おまけに雨という状況でも視界はちゃんと得られていました。

除電と操安性向上が得られる カブロンST採用シートも アキレスと共同開発中

アキレスのカブロンSTで導電性を上げて帯電の防止。静電気を取り除くことで、ゴツゴツとした路面から伝わる感覚を軽減したり、操縦安定性を向上させたりするシートを共同開発中。サーキット走行や長距離移動などで効果を最終検証中



大型ヘッドガードで保安基準適合の意欲作 BRIDE XERO RS PLUSをプロが体感! 青木孝行/富林勇佑の評価は!?

話題の真相

ヘッドガード付きのフルバケットシートXEROシリーズはGR86/BRZ CupやYaris Cupなどのナンバー付きワンメイクレースラリー/ダートトライアル/ジムカーナなどの競技において保安基準適合のCSが定番人気
そこへ、同じ座面やバックレストの形状で、よりサイドサポートが高くヘッドガードが大きいRSの進化モデル「RS PLUS」が登場!
保安基準適合モデルとなったBRIDEの意欲作を富士スピードウェイで青木孝行/富林勇佑がチェック!

XERO RS PLUS

FIA規格取得(8855-1999)

保安基準適合

着座センサー搭載

※車種によっては対応できない場合あり

重量 約8.5kg

※FRP/スーパーアラミドのいずれも

●FRP製シルバーシェル

ブラック/レッド…… 税込み価格 19万5800円

グラデーションロゴ…… 税込み価格 20万6800円

●スーパーアラミド製ブラックシェル

ブラック/レッド…… 税込み価格 25万3000円

グラデーションロゴ…… 税込み価格 26万4000円

座面やバックレストの形状、着座位置、アイポイント、シート幅などはXERO CSと同じだが、サイドサポートの高さとヘッドガードのサイズ(シート全高で30mm長く、ヘッドガード部分で20mmワイド)が異なり、その分、ホールド性と頭部保護に秀でる



ヘッドガード側面にはBRIDEの刺繍が刻まれる。ヘッドガードの脱着式クッションはマジックテープがクッション側に付くため、取り外した状態でも違和感はない

背面はハーフカバー。後席がある車両も別売りのシートバックプロテクターなしで車検を通すことができる

ホールドや安全性に秀で
思い掛けない実用性もある
クルマやタイヤの進化、それにもなるドライビングの変化、ナンバー付き車両で戦うモータースポーツの分野でも、シートへの要求は刻々と変わりつつある。
2025年の開幕に合わせ、さまざまなドライバーの声にこたえるカタチで、ブリッドが世に送り出したのが、XERO RSの進化版XERO RSプラスだ。
従来のXERO RSは競技専用モデルで、ナンバー付き車両では保安基準適合のXERO CSが定

番だった。もちろん、CSも相当な剛性やホールド性を誇るが、より大きなヘッドガードを備え、サイドサポートの高さも増して、重量も従来どおりに抑えたXERO RSプラスが保安基準適合となると話は違ってくる。
車室内空間に余裕がある現行GR86/BRZ、先代86/BRZ、GRヤリス、ZC33Sスイフトスポーツなどでは、交換を検討するドライバーも増えるだろう。ちなみに、着座位置やアイポイントの高さ、S字形状のシートバックなどはXERO CSと変わらない。
大型ヘッドガードは外側も表皮で覆われるようになり、BRIDEの刺繍が刻まれるようになった。サイドウインドウ越しに見えるアイデンティティだ。また、そのまま背面上部までハーフカバー化されていて、後部座席が備わる車種でも別売りのシートバックプロテクターを必要とせずに車検を通すことが可能になった。
4月23日、富士スピードウェイでのNAPAC走行会。青木孝行はブリッドのGR86と自身のGR86レーシング、富林勇佑はブリッドのGRヤリスで、RSプラスを試す。そのインプレは左ページをご覧ください。青木孝行からは思わぬ指摘があった。
「クルマの中で仮眠したいとき、このヘッドガードは良質の枕になりますよ!」